

平成25年11月22日

一般社団法人 日本物流団体連合会

山間過疎地における輸送の維持・確保に関わる調査検討小委員会を開催

11月21日（木）、物流連は、第1回山間過疎地における輸送の維持・確保に関わる調査検討小委員会を、全日通霞が関ビル8階中会議室にて開催しました。

この小委員会は、9月に開催した経営効率化委員会において設置が決まったもので、物流サービスという社会インフラを、山間過疎地においても維持していくことが重要であるものの、様々な課題があることから、今後の維持のあり方などについて検討を行うことを目的としたものです。

小委員会は、学識経験者、行政関係者、宅配便、郵便、特積み事業者等により構成され、流通経済大学教授・矢野裕児氏が座長に選出されました。

今回の小委員会では、宅配便・小口貨物輸送、地域輸送などに関し、各事業者が現在抱えている問題（労働力不足、顧客不在時の対応等）や課題（営業所開設の基準、災害時の対応等）について意見交換が行われました。

今後は、自治体の参加も含めた様々な事例の収集や、具体的な課題の整理などを行い、社会インフラとしての物流をどう維持していくか、様々な地域の特性にも配慮しながら、検討を進めていくことにしています。

以上

